



社会人基礎力養成プロジェクト

B班

大西・上別府・木村・中尾・三浦

INDEX

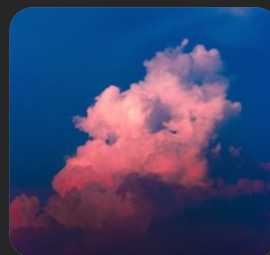
01

問題の所在



03

プログラム内容



02

社会人基礎力とは

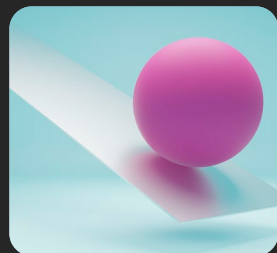


04

まとめ



01 問題の所在



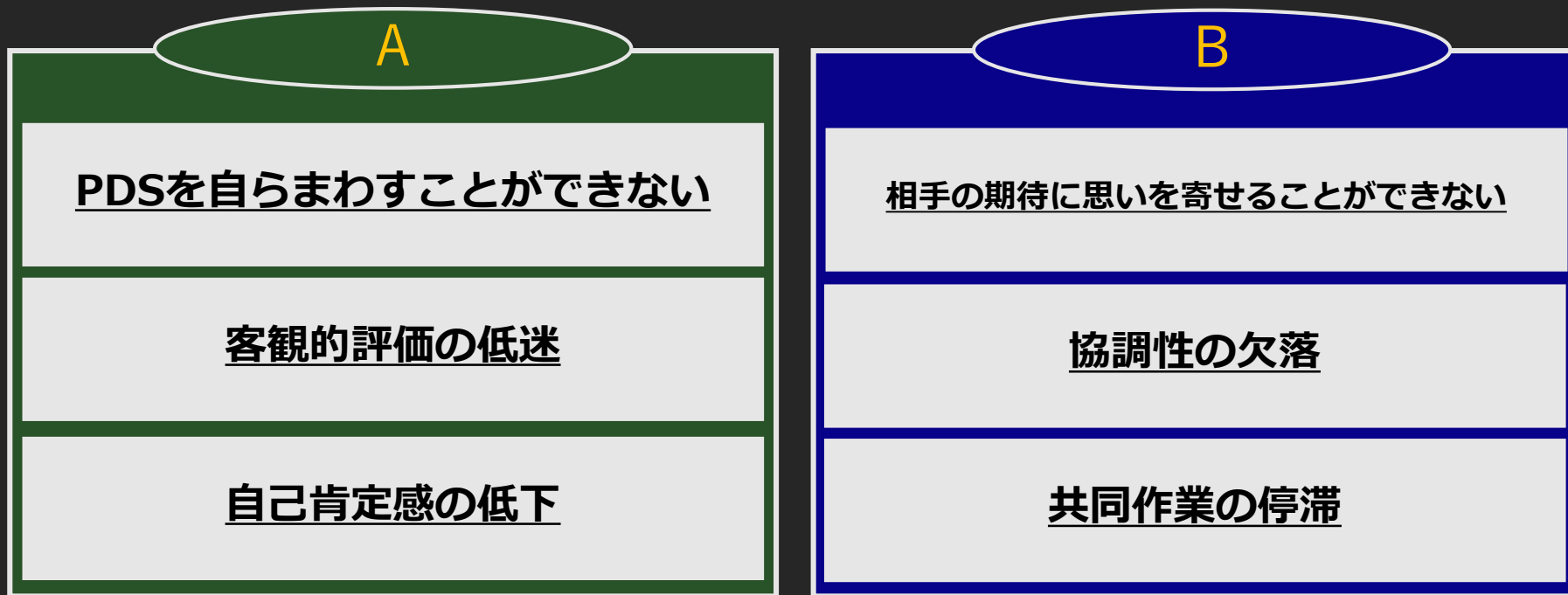
「教えられる」ばかりで**主体的・能動的な学び**を実践していない。
他学部と交流できる機会がない。**チャレンジ**できる環境も少ない。

社会人になる前に**キャリアについて考えられる機会**が少ない。
働くうえで必要な能力を学生のうちに知っておきたい。



自分がある事柄の当事者であるように他者も何事かの**当事者であることを慮る力**、すなわち**共感する力**が成熟していない。

問題行動	Excuse	背景
言われないと（指示されないと）動かない	「指示を待っているところです」	指示待ち族（主体性の欠落）（A）
言われても（指摘されても）動かない	「指示されていません（から）」	共感力の低下・欠如（B）



社会人としての基本行動に支障
 社会人基礎力の未成熟

02 社会人基礎力

12個の構成要素

「前に踏み出す力」

「考え抜く力」

「チームで働く力」の3つの能力

「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年に提唱



「社会人基礎力」 = 「社会でよりよく生きる力」

キャリアデザイン科目は多数開講されてされているが 社会人基礎力を養うプログラムが不足している。

キーワード	科目の種類	件数	科目名	担当学部
キャリアデザイン (27)	講義	2	キャリアデザイン1 (働くこと、生きること)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化/総情/安全
		1	キャリアデザイン1 (日本の社会と企業)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化
		2	キャリアデザイン2 (仕事の世界)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化/総情/安全
		1	キャリアデザイン2 (日本の就職と働き方)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化
		6	キャリアデザイン3 (私の仕事)	法/文/経/商/社/政策/外/シ/環/化/総情/人間/安全
		1	キャリアデザイン3 (日本の社会で働く)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化
		1	大学生から始めるキャリア形成	人間
		1	社会人に学ぶ多様なキャリアの創り方	法/文/経/商/社/政策/外/人間/安全/シ/環/化
		1	複雑化する現代社会を生き抜くためのキャリア理論	法/文/経/商/社/政策/外/人間/安全/シ/環/化
		1	ビジネス研究 (次世代の後継者のための経営学)	商
		1	社会システムデザイン特論3	社
		1	政策学の基礎	政策
		1	企業実践コミュニケーション	会計研究科(専門職大学院)
		演習	1	キャリア形成入門演習
6	フレッシュマンゼミナール		化	
考動力 (18)	講義	1	起業に学ぶ「考動力」実践 (企業と考える未来のデザイン)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/安全/シ/環/化/工
		1	プロジェクト学習 (アントレプレナーと考える地域活性)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/安全/シ/環/化
	演習	6	キャリア形成入門演習	法/文/経/商/社/政策/外/シ/環/化/総情/人間/安全
		8	プロジェクト学習1	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化
		2	プロジェクト学習2	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化
社会人 基礎力 (7)	講義	0		
	演習	2	専門演習1	人間
		1	専門演習2	人間
		2	演習	商
		1	プロジェクト学習2	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化
		1	サービスマーケティング (自治体との連携: 吹田市)	法/文/経/商/社/政策/外/人間/シ/環/化

03 プログラム内容

そこで

社会人基礎力育成プログラム

を提案します！



★プログラムの特色① 課題発見力を培う★

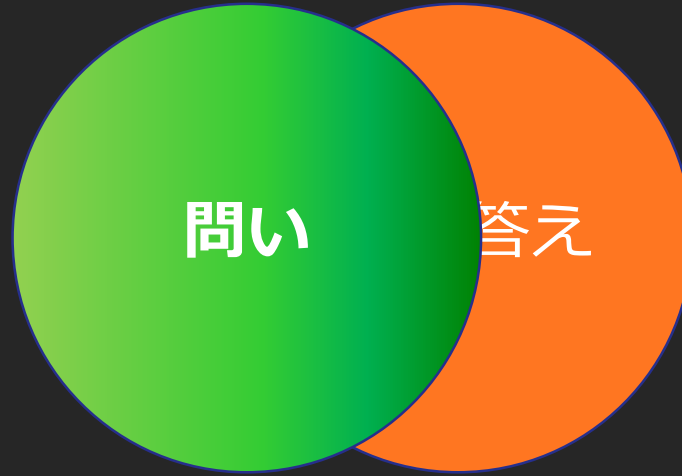
勉強モデル



問いと答えをセットにして記憶（暗記することが前提）

問いと答えの関係は不問
勉めて強いなければならない

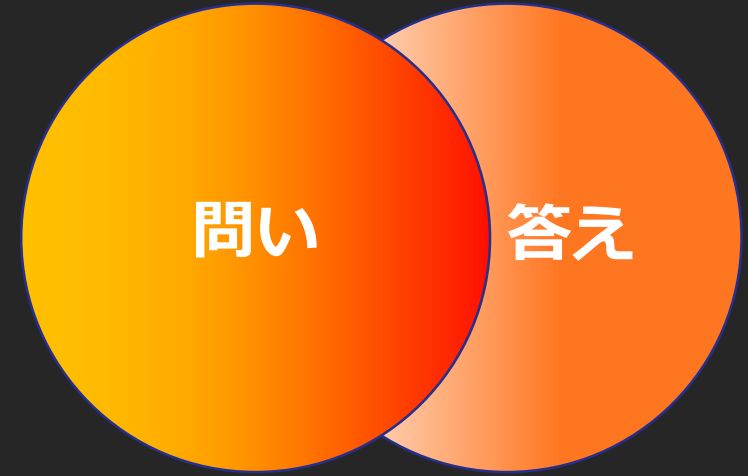
問題解決型学習



教師が問いを出し 学生が答えを探す（その答えは予め教師が用意したもの）

学生は問いを出されるまで動かない

課題探究型学習



学生が問いを立て 自ら立てた問いの答えを探す

問いには構造があり 成立する理由があり 他の問いを生み出す連関性を持つことを理解（リテラシーの獲得）

★プログラムの特色② 状況把握力を培う★

➤ 新しいリーダーシップを体験する

- ・ Shared Leadership と Servant Leadership
- ・ リーダーとフォロワーの双方を体験する
- ・ メンバーの望み・願いをかなえることからリーダーが育つことを体験する



➤ 「協働」するために「共感」することが不可欠であることを体験する

➤ コミュニケーションとは伝わりづらさを共有することであると知る

プログラムの流れ

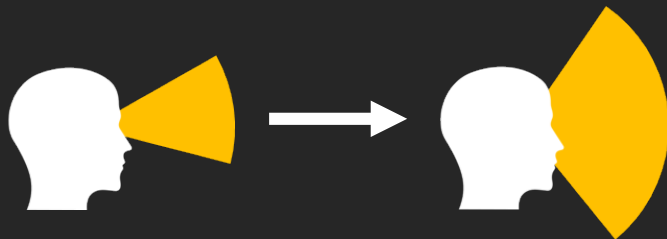
2回目-4回目、5回目-7回目

課題発見&解決のためのエチュード

視野を広げる

課題の発見と解決のための多様なアプローチを学ぶ

グループワークを通じて課題発見のエチュードを積み重ねる



8回目-13回目

グループワーク

課題発見&解決

自ら課題を発見・設定し、グループで解決を目指す

World Cafeなどを通じて他のグループとも情報交換等を行う



14, 15回目

報告会

報告・フィードバック

教授や登壇者からコメントをもらう

自己評価を行い、成長を確認する



04 まとめ

社会は多様化している。

学生は、これから自ら前に踏み出し、創造し、様々な人々と共に未来を創っていかねばならない。

その上で必要な能力＝社会人基礎力を最後に養う場が大学だ。

しかし、現在の教育プログラムではこの複合的な能力を養うのに十分でない。

私たちが提案するプログラムを実施することで
学生の能力向上に加え、学生・職員・教員の意識変化をもたらすことを期待する。